

かけがわ 市議会 だより

第58号

平成29年5月1日

平成29年2月定例会の内容を
お知らせします。



傍聴者への意思疎通支援として手話通訳者の派遣をお願いし、「掛川市手話言語の推進に関する条例の制定について」審査する文教厚生委員会

おもな内容

CONTENTS

市議会政策提言	2 ページ
2月定例会の概要	4 ページ
常任委員会委員長報告	5 ページ
特別委員会委員長報告	8 ページ
一般質問	9 ページ
審議結果一覧	13 ページ
議長挨拶	14 ページ
5月臨時会・6月定例会の予定	15 ページ
傍聴席	16 ページ

掛川市議会政策提言

議会報告会の本年度のテーマを「お達者度日本一を目指して」とし、市民のみなさんからいただいた御意見を基に、活発な議員間討議を行い、これを取りまとめ「健康日本一に向けた政策提言書」を平成29年3月8日に掛川市長へ提出しました。



※お達者度…65歳から、元気で自立して暮らせる期間を算出したもの。
掛川市は、県内35市町中、男性10位、女性26位(平成25年度)。

健康日本一に向けての提言

昨年3月に議員発議により「掛川市健康医療基本条例」が制定され、それに基づき健康診断機器の設置、人生設計ノートの作成、在宅医療推進員設置などの施策が展開されている。

しかしながら、掛川市民の健康で豊かな生活や健康長寿及びお達者度向上に関する各施策は、まだまだ道半ばの状況である。

議会では、市民の健康増進を掛川市政の最重要課題の一つとして位置づけ、より多くの市民が健康であり続け、生きがいを持って生活ができるよう、更なる施策を推進し、「市民全体」で健康増進、お達者度向上に取り組むよう次の4点を提言した。

【提言内容】

1 検診率の向上

(1) 受診者に特典サービス等の提供や、民間事業者と連携して検診率向上のPRに努めること。

現状35%の特定健診受診率を上げるため、個人宅に訪問する機会の多い民間事業者、保険会社、乳製品宅配販売、郵便局等と連携し、特定健診受診の案内や、ショッピングセンター、スーパー等で出張健診を受付するなど、民間事業者と協力して検診率を向上させる必要がある。

(2) 各種検診の検診率は、市民にわかりやすい統一的基準のもとに情報提供すること。

議会報告会で市民の多くのみなさんから「特定健診受診率には、JAで検診された方々がカウントされていない。」「通院に併せた医師による受診がカウントされていない。」など現在算出されている35%という数字自体の正確性に疑問があるため、正確な情報提供が必要である。

2 健康増進プログラム

- (1) 健康増進に関してのプログラムはさまざまな機関で行われ、それぞれが情報発信されているが、市民に分かりやすい情報となるよう関係機関で検討調整すること。

現在、さまざまな機関で健康増進に関するプログラムが発信されているが、受け取る市民側は、情報が煩雑で分かりにくい状況である。この解消のため、市内で開催されている健康増進プログラムを「(仮称)健康カレンダー」にまとめ、市民が「自ら参加したいプログラム」を見つけやすくする必要がある。

- (2) 民間企業等とまちづくり協議会との協働により、多くの市民に楽しく参加してもらえるよう魅力あるプログラムを検討すること。

「参加したい」と思っただけのよう、「楽しさや続けやすさ」を追求したプログラムを開発し、まちづくり協議会との連携による実践が必要である。

3 健康意識、自己管理意識の向上

- (1) 健康づくり実践事業所認定制度を見直し、中小零細企業にまで広め、より多くの働く世代の健康意識向上に繋げること。

大企業では、社員の健康管理を一定の水準で行えているが、全体の90%以上を占める中小零細企業では、社員の健康管理は十分とはいえない。中小零細企業の健康づくりへの支援が必要である。

- (2) 健康は幼い時からの積み重ねが大切であり、幼児から高齢者まで生涯を通して健康意識を持てるような仕組みと啓発活動を実施すること。

健康づくりには、幼児から高齢者までが健康を意識するという習慣づくりが必要であるが、これまでの施策展開では年代毎に担当部署が異なり、一貫した健康意識醸成に取り組むことが困難である。このため幼児から高齢者まで一貫した健康意識醸成施策に取り組む必要がある。

- (3) 自己の健康状態が簡易に把握できる健康測定機器の利用を勧め、市民の健康管理意識の向上を図ること。

健康意識の第一歩は、「自分の体の状況を日々把握すること」である。

市内の施設には、市議会の提言で、握力計、血圧計が設置され、市民のみなさんに活用されている。今後は、体全体の状況が簡単にわかる測定器の設置を行い、市民のみなさんに、常に「健康意識」をもって頂ける環境づくりが必要である。

4 行政組織体制の充実

- (1) 健康日本一を目指すため、事業執行体制の一層の充実を図ること。

健康づくりは、掛川市の重要課題である。「市民の健康づくり」を推進するためには、健康づくり専門官や専門部署を設置し、幼児から高齢者までワンストップで市民の健康づくりを支援できる体制づくりが必要である。

平成29年度予算 かけがわ未来への挑戦2017 — しごとづくり・子育て支援 —

総額 794億1,681万円

一般会計 472億9,000万円 (対前年比4億2,000万円 0.9%増)

特別会計 276億2,169万円 (対前年比3億3,518万円 1.2%増)

企業会計 45億512万円 (対前年比1億3,685万円 3.1%増)

※特別会計：国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険、公共下水道など13会計
企業会計：水道事業

主な事業

1 掛川への新しいひとの動きをつくる	8億9,000万円
・ シティプロモーション推進事業	1,750万円
・ かけがわ茶エンナーレ開催事業	5,000万円
2 掛川にしごとをつくり安心して働ける環境づくり	13億4,000万円
・ 掛川茶輸出戦略推進事業ほか	3,321万円
・ 企業誘致対策費	5億4,686万円
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	21億2,000万円
・ 認定こども園施設整備事業	6,924万円
・ 学校給食センター建設事業	11億1,362万円
4 明日の掛川をつくり豊かで潤いのある安心な暮らしを守る	57億円
・ 海岸防災林強化事業	2億4,657万円
・ 希望のまちづくり交付金・地域協働環境整備交付金	8,100万円

※地域協働環境整備費 3億2,061万円
施設修理費・補修工事費・維持補修材料費・農道舗装材料費(生コン)

平成28年度補正予算概要 — 教育環境整備を推進 —

主な事業

1 中央小校舎改築事業	7億179万円 増
2 千浜小屋内運動場改築事業	2億9,826万円 増
3 福祉施設(保育所等)防犯対策強化整備事業費補助金	2,029万円 追加
4 高齢者施設等防犯対策強化事業費補助金	159万円 追加
5 ふるさと納税推進経費	1億4,012万円 増

常任委員会委員長報告(抜粋)

平成28年度補正予算関係議案、平成29年度予算及び条例関係議案などを専門的、技術的、能率的に議案審査するため、3つの常任委員会に分割付託し、以下のような質疑があり、いずれも原案のとおり可決されました。

総務委員会

ふるさと応援基金の充当先

- Q** ふるさと応援基金積み立て金2億6,200万円は、どのような事業に充当されるのか。
- A** 地震津波対策に全体の21.6%、教育文化振興及び人材育成に18%の他、保健福祉、自然環境保全等に充当していきたい。



平和推進事業

- Q** 小中学生の平和学習の資料はどのようなものか。
- A** 市として後世に伝えていく教材となるように作成したい。小学校6年生などで実施している平和についての学習の時に副読本として活用できるものにしたい。

まちづくり協議会の活性化と自立化支援策

- Q** センター活動補助金、希望のまちづくり交付金、地域協働環境整備交付金の明確化を。
- A** センター活動と、まちづくり協議会の組織形成が進行途上にあり、地区毎に多少の相違がある。当年度は地区組織毎に使いやすい方法で支援していきたい。

美術館の運営合理化は

- Q** 二の丸美術館とスタンドグラス美術館の委託料8,633万9千円の内訳は。
- A** 二の丸美術館が6,292万3千円、スタンドグラス美術館が2,341万6千円。本年度から2館の一体管理となり、前年度より経費削減が図られる。

バス交通の充実と運転免許証返納者へのバス利用助成券

- Q** 公共交通利用を促すための具体的な内容と、運転免許証自主返納者への助成券発行措置を、75歳以上とした理由は。
- A** 学生や沿線企業へのモビリティマネジメント(機動性)の呼び掛けで、利用促進の取り組みを進める。返納者の年齢基準については、その年齢までは社会活動し貢献して欲しいという意味も含めて、75歳以上とした。

水道料金徴収業務委託

- Q** 民間委託によるメリットは。
- A** 民間委託すると委託料は増えるが、職員減少による人件費や検針業務などの委託料が減る。概算では年間120万円程度の削減を見込んでいる。

環境産業委員会

掛川茶輸出戦略推進事業

- Q 茶の海外輸出戦略として、商標登録が必要と考えるが対応は。
- A 平成29年度に検討し、取り組んでいきたい。



生ごみ減量化活動支援事業

- Q 導入を予定している生ごみ処理器「キエーロ」の処理能力及び普及方法は。
- A 製品の処理能力は、通常の生ごみであれば、2～3日分の量を夏場では5日程度、冬場では2週間程度で分解処理できる製品である。また、普及方法として、環境市民団体等がモニターとして使用した結果を検証したうえで、各家庭への普及を予定している。

農業委員会組織見直しにおける農地利用最適化推進の配置

- Q 農地流動化の進捗状況に応じた配置はできないか。
- A 農地利用最適化推進委員の配置は、まちづくり協議会単位に1人の配置を予定しているが、進捗状況に応じた配置を今後検討したい。

掛川駅ほのぼのパスの基本設計

- Q ほのぼのパスの基本設計委託費が計上されているが、具体的な内容は。
- A 現在、階段部分は、昇降機を運用しているがキャリーバッグ、自転車利用者には不便であるため、エレベーターの設置を計画している。

海岸防災林強化石業の推進

- Q 盛り土材の確保が課題だが、市長の一般質問への答弁は最長でも10年間で完成するとの答弁があった。これを裏付ける対策は。
- A 安価で活用できる菊川浚渫土しゅんせつどなど公共事業の残土の活用を基本とするが、公約でもあり土を購入してでも10年間で完成する。

下水道会計の公営企業会計移行

- Q 公営企業会計に移行する場合、下水道関係の3つの特別会計を一括処理することができないのか。
- A 国からは、地方公共団体の経営の考え方を踏まえ、会計の枠組みを考えるよう示されている。事業毎の会計処理が妥当であると考えている。

文教厚生委員会

生活保護の保護率

Q 統計はとっているか。相談に来る人はどのような人か。

A 保護率は平成27年4月0.24%、平成28年4月0.25%、平成29年1月0.26%と上がってきている。身体的理由により働けなくなった方や経済的に厳しくなった方が相談にみえる。



点字・声の広報等の発行事業

Q ボランティアで行っていたものが委託事業となったが、点字や声の広報の利用者は、どのくらいか。

A 声の広報は43人、公文書の点字反訳は12人である。これは、希望者のみの対応なので、今後、事業については、団体等にPRしていきたい。

成年後見制度

Q 成年後見制度支援事業費61万円とあるが、地域への推進等行っていくのか。今後の方向性は。

A フォローアップ研修を計画している。また、広域で支援センターの設置を考えているので、協議会を作る方向ですすめている。

国民健康保険特別会計繰出金費

Q 特別会計繰出金費の法定外繰出金が、前年度比2億円増となった理由は。

A 国保加入者の高齢化、退職者や非正規労働者、低賃金の加入者が多いなど、構造的な問題もある。また、平成30年までは税率を据え置いたため、増額した。

国民健康保険の医療費

Q 病床を減らせば医療費は減るのか。

A 入院には高額な医療費がかかるため、病床を減らし在宅医療を推進すれば、影響を受けている国民健康保険も10年後、20年後には抑制されていくと推測する。

掛川流子育て応援事業費

Q スキンシップのすゝめ普及について、桜美林大学と協働実施することになった経緯は。

A 情報収集していく中で、スキンシップは人間関係の円滑化や社会性の育ちに良い影響と要支援児の症状が緩和するとの話をされ、相談したところ、ぜひ一緒に研究していこうという話になり、委託することになった。

議会活性化特別委員会委員長報告

本特別委員会は、議員定数を検討するとともに議会活性化に向けて、1年間検討を行ってきました。



委員長
内藤 澄夫

議会活性化特別委員会

議会活性化、あるいは議会改革についての課題は、古くて新しい課題であり、議会が単なる市長の追認機関となっていないか、執行機関と政策競争をする議会を目指しているか等々、常に議員自らが議会の機能の発揮について留意していかなければなりません。

今回、議員定数は、3人削減の21人となりましたが、これは大きな議会改革のひとつであり、議員資質の向上及び議会活性につながるものと考えます。

また、平成25年3月に制定した「掛川市議会基本条例」の検証を、制定後初めて行いましたが、条例制定後の議会活動は、見える化が進み、またその活動は、以前に比較してより活発になっていることは間違いなく、今後も目指すべき議会像の達成のために取り組んでいくことを確認しました。

本特別委員会の主な協議結果を次のとおり報告するとともに、今後もますますの議会活性のため、各議員が日々議会改革に取り組みます。

第1 掛川市議会基本条例の検証について

1 実施してきたこと

(1) 市民に開かれた議会への対応

- ・議会報告会の実施(市民への説明・対話)
- ・スマートフォンでの議会中継

(2) 市民参加の機会の拡充

- ・健康医療シンポジウムの開催(平成28年)

2 目標とする議会像

(1) 住民に開かれた住民と歩む議会

(2) 議員間討議を重視する議会

(3) 執行機関と政策競争をする議会

第2 政務活動費について

政務活動費については、有効に活用し積極的に調査研究をするとともに、用途の透明性を確保することとし、平成28年度分の政務活動費からは、インターネット上で「領収書等」を公開していきます。

【その他協議事項・結果】

- ・会議へのペーパーレス化の導入(タブレット使用)：執行部が導入するとき同時に導入
- ・会派代表質問の実施：平成30年第1回(2月)定例会から導入
- ・通年議会(通年会期)：導入しない。定例会回数は、条例に基づき毎年4回
- ・常任委員会の設置数：現状どおり3常任委員会
- ・常任委員会の委員数：1委員会7人(議長も委員会の一員として委員会に所属)
- ・常任委員会の複数所属及び任期：複数所属は導入しない。任期は現状維持の2年

【今後の検討課題】

- ・議員報酬：市民の意見を反映し若い方が専業で議員活動ができる報酬額の検討



創世会
大場雄三

**将来人口の増加を目指す
施策は**

Q 合計特殊出生率を向上させる必要があるが、子育て世代の経済的支援を目的に、第二子以降の出産に対して出産祝い金制度を創設する考えはないか。

各種経済的支援についても検討していきたい

A 今後、お母さんの働きたいをかなえる施策、発達に不安を抱えるお子さんを持つ親の支援など、子育て世代の皆さんのため、育児不安を感じない、子どもを産み育てやすい環境づくりに重点をおいた施策展開に取り組んでいきたい。その先に各種経済的支援についても検討していきたい。

掛川茶の振興施策は

Q 「静岡の茶草場農法」をより多方面に向けて情報発信していくためには、粟ヶ岳ビジターセンターは必要な施設だと考えるが、現在の構想について伺う。

ビジターセンターを含めた整備計画の策定を進めている

A 粟ヶ岳ビジターセンターは、県の「茶の都構想」と連携し、その総合拠点である「ふじのくに茶の都ミュージアム」のサテライト施設として位置づけ、広域観光にも繋げたい。現在、ビジターセンターのあり方を含めた、粟ヶ岳全体の整備計画の策定を進めており、これらの意見を踏まえながら進めていく。



ミラノ万博でも紹介された美しい茶園



創世会
高木敏男

生活介護施設の整備を

Q 掛川特別支援学校卒業後の進路について、保護者から不安の声がある。今後、卒業生が増加すると予測され、特に生活介護施設への受け入れが困難となっているので、施設整備は必要と考えるが方針を伺う。

施設整備を行う法人への支援について検討していく

A 施設整備については、運営する法人が直接行うが、平成29年度に、掛川市、菊川市、御前崎市の3市で策定する「障害者計画」、「障害福祉計画」に盛り込むよう3市で協議していく。なお、既存の老人介護デイサービス施設の活用による、障がい者の生活介護サービスの検討や老人介護施設で障がい者の受け入れを行う「ふじのくに型福祉サービス」などの導入を踏まえ、施設整備を行う法人に対する支援について検討していく。

施設整備のスケジュールは

Q 時間は待って欲しくない。一年に三人、四人であっても三年、五年で多くの待機者が出てくる。早急に施設整備に取り組んでいく必要がある。整備はいつまでにするのか伺う。

平成32年度中の整備を目標に検討を進める

A 平成29年度策定の「障害福祉計画」において、平成32年度中の整備を目標に検討を進めていく。

【他の質問事項】

- ・平成29年度市長市政方針について
- ・子ども子育て支援特別委員会の提言から
- ・家族の記念日を大切に定める条例の制定に向けて



開校して2年が経つ掛川特別支援学校



美しい東海の名城“掛川城”



創世会
松本 均

掛川城の修繕計画とその予算は

Q 掛川城本格木造天守閣を維持管理するには、数年にわたる計画をたてる必要があります、また計画的な予算立てをすることも必要であるので伺う。

A 老朽化した箇所や修繕すべき場所の優先順位によ

中長期的な修繕計画の策定も検討予定

り、必要な予算を計上し修繕を行っている。今後、天守閣については、全国の城郭を保有する自治体や専門家の意見をいただき、安全で安心な施設として、さらに多くのお客様に来ていただけるよう、中長期的な修繕計画の策定も検討予定である。

観光客を獲得する施策は

Q 掛川城を中心とした文化エリアに、いま以上の観光客を獲得するための施策を伺う。

A 大河ドラマ紀行においての掛川市紹介をもとに、井伊家と掛川市を繋ぐトークイベントの開催や天竜浜名湖鉄道と協働した主要駅へのチラシの配架、掛川城から十九首塚を案内する「のぼり旗」の掲出、更には、ふるさと納税に関連し、体験型返礼品として、掛川城を含めた歴史・文化にふれていただけるような企画の実施や官民協働での歴史・文化施設と食を連携させた新たな魅力の創出について検討していく。

歴史・文化施設と食を連携させた新たな魅力の創出

「つま恋リゾート彩の郷」支援は

Q 「ヤマハリゾートつま恋」がH M I株式会社に譲渡されることとなった。今後「つま恋」を活かしたまちづくりの推進や「掛川の魅力創生と協働型シティプロモーション推進」を図るためにも効果的で合理性のある支援は必要と考えるがこれにどのような基本方針で臨むか伺う。

静岡県と連携していく

A 支援については、H M I株式会社からの事業計画を見てから検討するが、例えばスポーツの振興、健康の増進、観光誘客などの事業の支援など、協力できることはあると思う。支援の基本としては、静岡県と連携して行い、周辺市町とは観光施設間連携等をしていきたい。



志誠会
雪山 敏行

新東名掛川パーキングエリアのスマートインター設置は

Q 新東名高速道路の御殿場・豊田東間も開通し交流圏の拡大が期待できる。経済効果を地域に取り入れる、スマートインターチェンジを設ける計画が県内各地で進展している。掛川パーキングエリアへの設置は東遠地域の経済発展や防災面から必要である。設置に向け市長の決意を伺う。

設置に向けた取り組みを進めていく

A 掛川市の北の玄関口として、東遠地域の活性化と更なる防災力強化が期待でき、掛川市にとって大変重要と考える。まずは、内陸フロントエリア推進区域として取り組んでいる上西郷工業団地と掛川第2パーキングエリアの整備を進め、併せてスマートインターチェンジの課題解決など、設置に向けた取り組みを進めていく。

【他の質問事項】

・長年の課題(沈滞)となっている施策のイノベーションについて



22世紀の丘公園

子どもが楽しめる公園の遊具整備に関して



創世会
山本裕三

Q 比較的大きな公園のあり方を検討し、民間資本も活用し長期的な視点に立った子どもが安心して楽しめる公園整備、活用計画が必要と考えるが、所見を伺う。

安心して遊ぶことができる環境づくりに努める

A 市民や広域的な利用者等を考慮した配置計画、施設機能等を分析し、施設整備の緊急性、必要性を検討していく。

また、防災機能を向上させるため、今後に必要な箇所に、防犯カメラの設置を検討し、子ども達が安心して遊ぶことのできる環境づくりに努めていく。

行財政改革の効果と今後の推進に関して

Q 肥大し続ける財政ニーズと行政業務の中、今後は「事業の取捨選択」が必要な時代である。今後、行政は議会と協力し「事業評価」をより行っていくべきと考えるが見解を伺う。

あるべきまちの姿を見据えた改革を進める

A 指定管理施設の経営改革、市民課窓口業務の民間委託、事務の合理化・効率化等による職員数の削減などによって経常経費の見直しと市民サービスの向上に努めてきた。今後、必要なことは、公共施設の安全性向上や保有総量の圧縮に関する事、組織編成・人材育成・予算編成など行政経営のあり方を見直すことと考える。現状の課題解決だけでなく、将来あるべきまちの姿を見据えた改革を引き続き進めていく。



命を守る住宅用火災警報器 日頃の点検が大事です



無党派の会
窪野愛子

住宅用火災警報器設置率100%を目指す取り組みは

Q 平成28年の市内火災発生件数は46件で前年から12件増えた。警報器設置率は向上したが、依然として国・県を下回る74%の設置率である。未設置住宅に対する今後の対応は、

更なる設置推進と維持管理をお願いしていく

A 今後とも個別訪問を実施するとともに、訪問結果を地区まちづくり協議会の防災部会等に情報提供する等、更なる設置推進と維持管理をお願いしていく。警報器の有効性をお伝えすることや当初に比べ半額以下で購入できること、取り付けも簡単であることなどを情

まちづくりは若者の自由な発想や行動力を活かす施策で

Q 「若者は資源である」という発想の下、次代のまちづくりの担い手である若者の意見で若者政策を推進することは、市民が主役の協働のまちづくりが名実ともになる。若者の声を聴く「若者会議」の創設を。

条例制定についても検討し、実施していきたい

A 特に、子育て支援や仕事づくり、シティープロモーションなどは、若い世代に身近なテーマであり、若い世代の発進力が課題解決に繋がることも考えられる。若者が地域の課題について議論する場面に気軽に参加できる環境を広げていくことで、若者が活躍できるまちづくりに繋げ、仮称「若者会議」も含め、意見が出やすく、また出しやすい形や条例制定についても検討、実施していきたい。

【他の質問事項】

- ・掛川市の魅力を活かした市街地活性化について
- ・男女の権利と性を尊重する教育の充実について

報発信し、市内のホームセンターには、設置の宣伝広告と安価販売のお願いや、高齢者世帯への設置についても推進していく。



文化型交流が期待される「よこすかしろ」



創造みらい
中上 禮一

学校司書の配置率を100%に

Q 掛川市の配置率は77%で、未配置校が7校ある。現在1人で3校担当しているのが、3人増員すれば100%になる。質の高い教育に読書環境の充実は欠かせない。配置率100%の実現は。

全校配置に努めていく

A 学校司書を掛川市子ども読書活動推進計画「ほんわかプラン」にそって、平成28年度は2人増員し、8人としたが、配置率が県下でワーストワン

ということとは良い結果ではない。子どもたちの未来のために、何をすべきか、何ができるのかという観点から全校配置については予算成立後、議会に諮りながら検討を早急に行っていく。

将来の観光の新たな方向性は

Q 自然体験等交流型観光・グローバル化に重点を移行していくとのことだが、市民にどのようなことを求めていくのか伺う。

地域の資源や資産に自信とプライドを持つて

A 掛川市民が地域にある資源資産を誇りに思い発信していただくことが、協働での観光誘客につながるものと考ええる。ついでには、地域の皆さんが情報発信できる要因を整備していく。市民には、自信とプライドを持つってもらうよう取り組んでいく。

【他の質問事項】

・海岸防災林「潮騒の杜」強化事業について



至誠の会
鷺山 喜久

山口橋側道橋の完成予定は

Q 仮称「本村橋」は、本村と高畑をつなぐ橋である。昔は橋があったが、逆川の改修でなくなった。本村橋に替わり、山口橋への側道橋の整備計画があるが、完成予定を伺う。



側道橋整備が予定される山口橋

平成33年度完成予定を目指す

A 山口橋は通学路でありながら歩道がなく、朝の通勤時間帯には非常に危険な状況である。平成29年度は側道橋の工法検討を行い、平成33年度の完成を目指し、平成30年度から事業着手していく。

宮脇秋葉線の今後の整備計画は

Q 昭和47年に都市計画決定されたが、現在宮脇の静岡銀行から東側は市道未整備の状態である。宮脇地区は、不動産人気が高く、住宅化が進んでいることから、整備計画を伺う。

整備計画は示していない

A 平成25年2月に都市計画道路の見直しなど踏み込んだ検討をした「掛川市道路整備プログラム」を策定した。未整備区間である東の蘭ヶ谷地区と西の大池地区は「維持」区間と定められ、具体的な整備計画は示していない。

【他の質問事項】

・掛川東環状線について

2月定例会における議案の審議結果一覧

	議 案 名	議決内容
平成29年度当初予算	平成29年度掛川市一般会計予算について	賛成多数可決
	平成29年度掛川市国民健康保険特別会計予算について	賛成多数可決
	平成29年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計予算について	賛成多数可決
	平成29年度掛川市介護保険特別会計予算について	賛成多数可決
	平成29年度掛川市公共用地取得特別会計予算について	賛成多数可決
	平成29年度掛川駅周辺施設管理特別会計予算について	賛成多数可決
	平成29年度掛川市簡易水道特別会計予算について	賛成多数可決
	平成29年度掛川市公共下水道事業特別会計予算について	賛成多数可決
	平成29年度掛川市農業集落排水事業特別会計予算について	賛成多数可決
	平成29年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計予算について	全会一致可決
	平成29年度財産区特別会計予算について(上西郷、桜木、東山、佐東)	全会一致可決
	平成29年度掛川市水道事業会計予算について	賛成多数可決
条 例	掛川市ふるさと応援基金条例の制定について	全会一致可決
	掛川市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	賛成多数可決
	掛川市手話言語の推進に関する条例の制定について	全会一致可決
	掛川市立幼保連携型認定こども園条例の制定について	賛成多数可決
	掛川市立幼保連携型認定こども園の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の制定について	全会一致可決
	掛川市スポーツ施設条例の制定について	賛成多数可決
	掛川市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市個人番号の利用に関する条例の一部改正について	賛成多数可決
	掛川市税条例等の一部改正について	全会一致可決
	掛川市部設置条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市国民健康保険税条例の一部改正について	賛成多数可決
	掛川市立幼稚園保育料等徴収条例等の一部改正について	全会一致可決
	掛川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市手数料条例の一部改正について	全会一致可決
掛川市営住宅管理条例の一部改正について	全会一致可決	
掛川市再開発住宅管理条例の一部改正について	全会一致可決	
掛川市住環境整備モデル住宅管理条例の一部改正について	全会一致可決	
平成28年度補正予算	平成28年度掛川市一般会計補正予算(第4号)について	賛成多数可決
	平成28年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	全会一致可決
	平成28年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第3号)について	全会一致可決
	平成28年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	賛成多数可決
	平成28年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
	平成28年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算(第2号)について	全会一致可決
	平成28年度掛川市簡易水道特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
	平成28年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	全会一致可決
その他	平成28年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算(第2号)について	全会一致可決
	掛川市道路線の廃止・認定・変更について	全会一致可決
人 事	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市再開発住宅)	全会一致可決
	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市住環境整備モデル住宅)	全会一致可決
	掛川市教育委員会委員の任命について	全会一致同意
議 案	掛川市外2組合公平委員会委員の選任について	全会一致同意
	掛川市固定資産評価審査委員会委員の選任について(全4件)	全会一致同意
議 案	掛川市佐東財産区管理委員の選任について(全7件)	全会一致同意
	掛川市議会委員会条例の一部改正について	全会一致可決

議長挨拶



振り返れば

竹嶋 善彦

掛川市議会はこの4年間、平成25年3月に議会自ら制定した「掛川市議会基本条例」に基づき、先ずは「議員の資質向上」を図り、市民への「議会報告会」の開催、市長への「政策提言」、議員発議による「条例制定」など、開かれた議会を目指して、様々な議会改革を行ってまいりました。

そして、昨年7月には、18歳以上が有権者となったことから、若い世代に政治に関心をもってもらうために、掛川市では初めて市内中学生による「かけがわ子ども議会」を開催いたしました。

さらに、市民の健康は究極の行政課題であることから、議会が主催して「掛川市健康医療シンポジウム」を開催して、市民の皆様に訴えました。

また、広島平和記念式典へ初めて市内中学生とともに参加し、悲惨な戦争を二度と繰り返してはいけないと共に誓いました。

このほか、議会改革の一つとして今年の市議会議員選挙から定数を21人に削減いたしました。が、議会は市民の皆様と共に活動しておりますので、これまでに以上に皆様のご意見、ご要望を積極的に行政に反映して参りたいと考えております。是非ともご指導、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



5月臨時会・6月定例会の予定

【5月】	16日	臨時会(議会構成等)
【6月】	12日	本会議(議案の提案説明)
	27日	本会議(一般質問)
	28日	本会議(一般質問)
	29日	本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)・常任委員会
【7月】	6日	本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)

議会を傍聴してみませんか

傍聴は、議会活動に触れる最も身近な方法です。

手続きは、本会議当日、市庁舎5階の議会事務局受付で行います。住所、氏名を記入いただければ、どなたでも傍聴できます。お気軽にお出かけください。

また、育児中の方も傍聴していただけるように託児サービスを開始します。ご利用される方は、2週間前までに議会事務局にご連絡ください。

議会中継をスマートフォンやタブレットで視聴可能

手話通訳者の映像配信開始

市議会のホームページから、パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットで議会中継を御覧いただけます。

また、手話言語の推進に伴い、障がい者の方から本会議において手話通訳者の派遣要請があった場合には、議会中継画面で手話の映像を配信いたします。

<http://smart.discussvision.net/smart/kakegawa/>

問い合わせ先 **掛川市議会事務局 ☎21-1160**



QRコード

議会日誌

【1月】

- 12日 ○ 議会だより編集特別委員会
○ 静岡県西部地区市議会議長協議会 (焼津市)
- 18日 ○ 政策討論会幹事会
- 20日 ○ 市議会全員協議会
○ 議会活性化特別委員会
- 24日 ~25日
○ 議会活性化特別委員会行政視察 (岐阜県可児市、多治見市)
- 27日 ○ 静岡県地方議会議長連絡協議会 (静岡市)
- 30日 ○ 政策討論会

【2月】

- 2日 ○ 静岡県市議会議長会正副会長監事会 (富士市)
- 2日 ~3日
○ 静岡県市議会議長会 第152回定期総会 (富士市)
- 3日 ○ 全国高速自動車道市議会 第43回定期総会 (東京都)
- 6日 ○ 静岡県市町村振興協会理事会 (静岡市)
- 7日 ○ 太田川原野谷川治水水防組合議会
○ 中東遠看護専門学校組合議会
○ 浅羽地域湛水防除施設組合議会
- 8日 ○ 東遠工業用水道企業団議会
- 13日 ○ 市議会全員協議会
- 14日 ○ 議会運営委員会
○ 議員懇談会
○ 議会活性化特別委員会

- 16日 ○ 東遠地区聖苑組合議会
○ 掛川市・袋井市病院企業団議会
- 17日 ○ 東遠学園組合議会
- 20日 ○ 掛川市・菊川市衛生施設組合議会
- 21日 ~3月22日
○ 掛川市議会第1回(2月)定例会
- 24日 ○ 議会だより編集特別委員会

【3月】

- 7日 ○ 議会運営委員会
- 15日 ○ 小笠老人ホーム施設組合議会
- 21日 ○ 東遠広域施設組合議会
- 22日 ○ 議員懇談会
- 24日 ○ 議会だより編集特別委員会
- 28日 ○ 大井川広域水道企業団議会

傍聴席

市議会を傍聴して

応援する市議の一般質問発言があるとき、できる限り傍聴をするようにしています。議会では散在する点について様々な角度から行政と議会の間でやりとりしています。一体この船はどこに向かいそのためにどのような形であるべきなのか、何をしなければいけないのか…。個々の議員は広く調査・研究し、市政について丁寧に質疑を行っていることがうかがえます。傍聴すると、現在の掛川市の状況と今後の課題、そしてこれからの目指す姿は何なのか分かってくると思います。ここでの議論は私たちの暮らしに直結しているものか？市民ファーストの施策か？役所のため、議員のための時間になっていないか？市民一人ひとりが、こつした傍聴の機会を利用するなどして、少しでも市政に関心を持ち、市政に対して意見を発信する中で、掛川市の未来を魅力ある住みよい街として次の世代に残していくことができると思います。そのためにも、これからは傍聴席に若者と女性の姿が見える議場にしていく努力が必要と感じました。

和田岡地区 西島 敬

編集後記

広報改革が求められている

「議会だより」を読まれているときには新しい議員構成になっていると思います。現在、議会改革の重要な柱の一つが広報改革。年々その質の高まりが求められています。「議会だより」は残念ですが、多くの方に読まれないのが現状です。読まれないのではなく、読みたくなる広報をどうつくるかが私たち編集委員に求められております。みなさんが知りたいこと、議会から伝えたいことをもっと見えるようにお伝えしていかなければなりません。平成29年度には広報広聴の在り方やSNSの発信等を調査・研究し、広報改革を進めていきます。

議会だより編集特別委員会 山本行男



議会だより編集特別委員会委員

※この市議会だよりは、資源リサイクル推進のためグリーン購入法適合再生紙を利用しています。